

1. 一般会計

(1) 収支の状況

平成24年度原村一般会計決算の状況は、歳入総額4,300,990千円に対して歳出総額3,826,497千円となり、差引差額は474,493千円でした。これを前年度と比較すると、歳入では82,284千円増、歳出では239,718千円増となりました。

住民一人当りで見ると、歳入が547,269円、歳出が486,893円となりました。

翌年度に繰り越すべき財源は52,401千円で、実質収支額は422,092千円の黒字、単年度収支額については157,912千円の赤字となりました。一方、財政調整基金への積立て・取崩しを加減した実質単年度収支額は46,329千円の赤字となりました。

(2) 歳入の状況

歳入は昨年に比べて82,284千円（2.0%）増加しました。

◎増加の主な内容

- ・ 県支出金 6,519千円 東日本大震災農業生産対策交付金13,800千円等
- ・ 財産収入 16,116千円 基金運用利子等
- ・ 繰入金 8,639千円 庁舎建設基金、ふるさと創生基金

◎減少した主な内容

- ・ 村税 27,617千円 村民税が年少扶養控除廃止等により9,769千円増、評価替えによる固定資産税が35,677千円減、販売数量減によりたばこ税が1,927千円減
- ・ 国庫支出金 50,772千円 子ども手当の制度変更、H21からの経済対策交付金事業の終了

(3) 歳出の状況

歳出は、昨年に比べて239,718千円（6.7%）増加しました。

◎増加した主な内容

- ・ 扶助費 13,975千円 障害者福祉対策事業10,893千円・老人医療給付事業12,919千円
子ども手当△17,337千円等
- ・ 普通建設事業 165,206千円 保育所給食棟建設用地(1,671㎡)、八ヶ岳自然文化園用地(31,991㎡)の購入、社会資本整備総合交付金事業による村道改良工事・八ヶ岳自然文化園への太陽光パネル設置工事等に51,345千円、東日本大震災農業生産対策交付金による鳥獣被害対策事業13,874千円、
- ・ 災害復旧事業費 5,475千円 7/20集中豪雨による道路・農業用施設等
- ・ 積立金 110,758千円 財政調整基金100,000千円、運用利息等の増
- ・ 投資および出資金・貸付金 18,500千円 中小企業振興資金や勤労者生活資金の融資枠を拡大

◎減少した主な内容

- ・ 補助費等 47,921千円 諏訪南行政事務組合の起債の償還終了、
諏訪広域連合常備消防分18,304千円
- ・ 物件費 29,467千円 緊急雇用事業による道路台帳管理システム作成業務が完了。

■ 普通会計の決算状況

一般会計に有線放送事業特別会計と農業者労働災害共済事業特別会計を加え、繰出金・繰入金等を調整した普通会計の決算規模は、歳入総額で4,312,941千円となり、前年度に比べて74,322千円の増加、歳出総額では3,833,308千円で232,931千円の増加となりました。

■ 財政指標の状況

財政硬直化の指標となる経常収支比率（臨時財政対策債を経常一般財源に加えて算出）は77.0%（3.3ポイント増）となりました。財政力指数は0.360で前年度の0.370を0.010ポイント下回りました。

一方、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」（財政健全化法）による健全化判断比率については以下のとおりとなり、早期健全化基準には至っていません。

◆ 一般会計等（普通会計に相当する会計）を対象とする「実質赤字比率」、及び村の全ての会計（一般会計・特別会計・企業会計）を対象とする「連結実質赤字比率」については、ともに「ゼロ」となりました。

◆ 村の全ての会計の他一部事務組合（諏訪南行政事務組合・南諏衛生施設組合・諏訪中央病院組合・長野県市町村総合事務組合・南信地域町村交通災害共済事務組合・長野県市町村自治振興組合）及び広域連合（諏訪広域連合・長野県後期高齢者医療広域連合・長野県地方税滞納整理機構）を含めた公債費負担の割合を示す「実質公債費比率」は、6.4%（平成22・23・24年度の平均）となり、前年度の7.8%に対し1.4ポイント下回りました。

◆ 実質公債費比率のほかに原村土地開発公社・原村振興公社・第三セクターの有限会社縦の木を含めた将来にわたる実質的負債を指標化した「将来負担比率」については、村債等の将来負担額に対し基金等の充当可能財源が多いこともあり「ゼロ」となりました。

2. 特別会計

（1）国民健康保険事業勘定特別会計

歳入決算額は1,038,677千円で、前年度に比べ55,340千円（5.6%）の増加、歳出決算額は959,034千円で、前年度に比べ3,874千円（0.4%）の増加となりました。保険給付費が伸び続けているため、税率を改正し国保税額を引き上げるとともに、2年連続して一般会計の法定外繰出金36,205千円を繰入しました。

（2）国民健康保険直営診療施設勘定特別会計

歳入決算額は149,587千円で、前年度に比べ8,321千円（5.9%）の増加、歳出決算額は93,119千円で、前年度に比べ21,773千円（30.5%）の大幅な増加となりましたが、基金に20,000千円積み立てたことによります。これによる実質収支額は56,468千円の黒字でした。

(3) 有線放送事業特別会計

歳入決算額は41,876千円で、前年度に比べ7,087千円(20.4%)の増加、歳出決算額は37,663千円で、前年度に比べ8,280千円(28.2%)の増加となりました。行政チャンネルデジタル放送開始にあたり施設整備等に要する費用が増加したためです。

これによる実質収支額は4,213千円の黒字でした。

(4) 農業者労働災害共済事業特別会計

歳入決算額は1,619千円で、前年度に比べ317千円(24.3%)の増加、歳出決算額は692千円で、前年度に比べ299千円(76.1%)の増加となりました。これは災害補償費が267千円増えたことによります。これによる実質収支額は927千円の黒字でした。

(6) 後期高齢者医療特別会計

歳入決算額は69,191千円で、前年度に比べ6,303千円(10.0%)の増加、歳出決算額は67,931千円で、前年度に比べ5,746千円(9.2%)の増加となりました。これによる実質収支額は1,260千円の黒字でした。

3. 企業会計

(1) 水道事業会計

収益的収入は171,923千円で、前年度に比べ5,233千円(3.1%)の増加、収益的支出は135,784千円で、3,687千円(△2.6%)の減少となりました。一方、資本的収入は24,000千円で、前年度と同額です。資本的支出は43,399千円で、前年度比べ108,483千円(△71.4%)の減額となりました。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額19,399千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

(2) 下水道事業会計

収益的収入は367,275千円で、前年度に比べ2,208千円(△0.6%)の減少、収益的支出は249,538千円で、前年度に比べ4,111千円(△1.6%)の減少となりました。資本的収入は6,058千円で、前年度に比べ2,721千円(△31.0%)の減少、資本的支出は217,850千円で、前年度に比べ5,918千円(2.8%)の増加となりました。なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額211,792千円は、当年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。